

【佳作】

「北方領土問題を解決するには」

根室市立歯舞学園

7年 中村 竣介

僕の祖母は、元島民です。祖母から色々な話を聞きます。楽しかった話、思い出に残っている話、悲しかった話。そして、最後にはこういいます。「四島は返ってこないかね」と。僕は、「そうだね。返ってくるといいね。」としか言えません。言葉にはできても、行動には移せない自分が惨めだと思えます。

なぜ北方領土は返ってこないのでしょうか。

一つ目に思うのは、国民一人一人の意識の低さだと思います。四島の名前しか知らない、名前すらも知らない人達もいます。名前を知ってもらうには、新聞やテレビなどのメディアで取り上げるのがいいと思います。そうすれば、多くの人に、今の北方領土問題の現状を知ってもらえると思います。

二つ目は、島民三世、四世の北方領土問題の取り組み方の姿勢です。冒頭でも話したとおり、僕はこの北方領土問題についてくわしいのに、実際には行動できていません。このように考えている人もいます。行動に移そうと思えばいくらでもあります。署名活動、返還運動、行事への参加など色々あります。ですが、見てみると、元島民や二世などが多い気がします。もちろん、三、四世の方方もいらっしゃいます。ですが、元島民などと比べると少ない気がします。元島民の平均年齢は八四.一歳です。この事を継承していくためには、私達が見て、聞いて、体験することが大切だと思います。小さなことでも、やっていくと四島返還に近づくのではないのでしょうか。

最後に政府の対応です。一度、二島が返ってくるような話がありました。ですがその二島が返ってくることはありませんでした。政府としては、四島一括返還が望ましいそうです。一括返還はいいのですが、その後何か進展はあったのでしょうか。北方領土問題は後回しになっている気がします。一刻も早く僕は何か手を打ってほしいと思います。

四島が返ってこなくとも、自由に行き来ができるようになってほしいです。そして、現島民、元島民が共に生活できる日が、一日も早く来ればいいと思います。